



特定非営利活動法人山崎・谷戸の会
会報 第18号 2017年3月1日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

新年度谷戸塾がはじまります

春うららから始めるのって、やっぱり前向きな気持ちになるものですね。

新しい谷戸活動に参加しようかなと思う方も、さらに腕を磨こうと張り切るベテラン会員さんも、どなたでも大歓迎です。



新規会員募集

谷戸塾

保全作業、観察会、農芸体験で谷戸を学びます。
小学5年生から参加できます。

里山探検隊

農体験や谷戸の遊びをします。小学生対象。

10時～13時 定員25名 全6回

2017年 ①4/23(日)「谷戸歩き」②6/18(日)「谷戸しごと」③10/29(日)「脱穀」
④12/3(日)「むしろあみ・落ち葉かき」

2018年 ⑤1/28(日)「つるブランコ作り」⑥2/18(日)「かまどで火おこし」

4/1より申し込み開始 通年参加 先着順 申込先：0467(47)1164 当会事務局まで

お知らせ

オリエンテーション

4/9(日)10:00～12:00

管理棟2階

春の谷戸まつり

4/29(土・祝)10:00～14:00

野外生活体験広場(小雨決行)お椀・お箸をご持参ください。



谷戸には湿地がたくさんあり、アシやオギが生えています。田んぼが放棄されて湿地になってしまったのです。“昔の里山”から見れば荒地ですが、今の谷戸のように“都市型の里山”にとっては貴重な場所です。生態系保全から見た湿地の意義を数回にわたって紹介します。

●谷戸の湿地はなぜ大切か？

1. 鎌倉では湿地が希少 現在、鎌倉には田んぼがほとんどありませんが、田んぼをやめて湿地になった場所もあまり残っていません。湿地の環境があるのは、谷戸や台峰、広町緑地くらいです。古都保存法で守られている旧鎌倉地区には湿地がないのです。30年前、谷戸や台峰、広町緑地の保全活動をしたのは、湿地の存在が注目されたのも一因です。
2. 湿地は“谷戸”の自然には欠かせない 鎌倉の里山は“谷戸”です。山の林だけでなく谷底に田畑（現在は湿地が多い）や水路が混在し、狭い範囲にさまざまな環境がある箱庭のような景観です。県内でも貴重な自然です。
3. 湿地特有の生物 田んぼだけでは暮らせない、アシ原やオギ原特有の生きものがいます。カヤネズミをはじめ、昆虫ではヒメギス、キンヒバリなどがいます。クイナ、オオヨシキリなどアシ原やオギ原にしがみついて暮らす野鳥もいます。
4. 湿地は生き物の隠れ場所 昔の里山が公開された緑地になると人の出入りが増えるので、生きものの隠れ場所が必要になります。里山の周囲が市街地で囲まれている“都市型の里山”では、田んぼだけでなく、田と湿地が混在している方が生物の安住に役立ちます。
5. カヤ場の面影が残る 50年ほど前まで鎌倉の里山には、尾根や斜面にススキの草原（カヤ場）がたくさんありましたが、今ではほとんど残されていません。谷戸の湿地のオギ原は、ススキの草原と似た環境が残る貴重な場所となっています。

谷戸往来

春の七草どんと焼き

1/14(土)

山崎で継承されてきたどんと焼きを、鎌倉市公園協会と協働にて開催し無病息災を祈りました。晴天に恵まれ予想以上の人の出でした。

青空自主保育保全活動

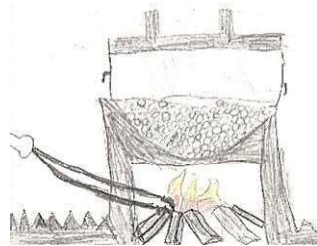
今年も3つの団体が、季節ごとに3回の保全活動を終わりました。若いパワーが谷戸の保全作業を支えてくれています。



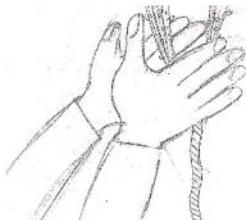
堆肥撒き

谷戸の体験学習

なわなひは私たちが一年間育てたお米のいねをあんていきます。むずかしかったけど、先生（指導員）におしえてもらったなら上手にできるようになり楽しかったです。（富士塚小5年）



落ち葉かきが楽しかったです。なぜかという一気に落ち葉をブルーシートに乗せるのが気持ちいいからです。（鎌倉市教育支援教室ひだまり）



自分たちの手で育てたお米はすごくおいしかったです。谷戸でやってきたかいがありました。楽しかったです。（深小5年）

熊手で落ち葉をあつめました。最後には何人もねられる夢のような落ち葉ベッドになりました。落ち葉ベッドの上にとびおりました。夢のような世界でした。（深小5年）



各班のお知らせ

田んぼ班

冬の間の田んぼ班作業は、苗床の耕し・雑草取り、粃殻を炭にする粃殻くん炭など4月中旬の種粃蒔きのための準備です。4月の終わりから田うない、くろつけなどの田んぼ内での作業が始まります。



2/5 粃殻くん炭

畑班

今年の冬は寒暖の差が著しく、昨年蒔いた作物の育ちが今一つです。さつまいもの苗床作りでは、枠組みを一新しながらの作業を無事終え、畑はこれから春の作付け準備と道具の手入れの作業となります。

農芸班

谷間に咲く可愛い梅の花が、寒さで縮こまっていた体をほぐし始めさせてくれるようです。6月から梅干し作りが始まります。新年度も「恵み」を大切にしていきます。

雑木林管理班

今年も立春を過ぎ、雑木林の間伐作業もピークを迎えています。これから本格的に暖くなる前に、新しい草花の芽が出やすくなるよう、作業の合間に下草刈りも行う予定です。



2/5 園内整備

生態系保全班

班活動時に謎の死骸が見つかりました。タヌキ！ハクビシン！未確認生物ヤッシー！所説出ましたが、首が長いことや弱ったアオサギがいたことから、その死骸と思われます。谷戸は弱肉強食の場です。

自然遊び班

山から原料を伐り出し、煮て剥いて叩いて…自分の手で和紙を漉(す)く「紙漉き」や、雑木林で鋸を使って木を倒す「伐採」の体験をしました。子どもたちは冷たい風も何のその、体を動かし冬ならではの活動を楽しみました。



2/15 小段谷戸・土手の手入れ

植物育成班

野草の新芽が出やすいように、冬の間に土手の手入れをしました。しっかり刈った草を掃除します。それは、土壌が落ち葉などで富栄養化しないようにし、野草にあった土壌を保つためです。

3月

- 1日(水) 植 野草苗の植付け
 塾・講座 「市民活動と里山保全」
- 5日(日) 田 道具の手入れ ☆
 畑 道具の手入れ ☆
 雑 山作業道具の手入れ ☆
 自 父と子の里山体験
 「竹でお椀と箸づくり」 ▶
- 8日(水) 生 カエル生息地の整備
- 12日(日) 田 畔・水口直し
 畑 さつまいも洞出し・種芋伏込み ❀
 雑 雑木林の除間伐 ❀
- 15日(水) 植 樹木を枝で見分けよう ❀
- 19日(日) 田 畔・水口直し
 畑 ねぎ種蒔き・草取り・耕し
 雑 雑木林の除間伐
- 22日(水) 生 オタマジャクシの観察 ❀
- 26日(日) 畑 畑の整備
 雑 間伐材の活用 ❀

4月

- 2日(日) 田 浸種・ため池整備
 畑 畑の整備
 雑 間伐材の整備 ❀
- 9日(日) 田 苗床整地・畔整備
 畑 こんにゃく芋の植付け ❀
 雑 竹林の整備 ❀
 オリエンテーション
- 12日(水) 生 春のチョウの調査
- 15日(土) 田 種蒔き
- 16日(日) 田 種蒔き ☆
 畑 さといもの植付け ☆
 雑 斧で薪割り ☆
- 19日(水) 植 田んぼの植物調査
- 23日(日) 田 田うない ❀
 畑 かぼちゃの種蒔き ❀
 生 野鳥のさえずりを聞く ❀
 自 里山探検隊 「谷戸歩き」
- 29日(土) 春の谷戸まつり
- 30日(日) 田 田うない
 畑 夏野菜の苗植え

5月

- 3日(水) 田 田うない ☆
- 7日(日) 田 畔草刈り・苗床草取り ❀
 畑 ねぎの移植
 雑 薪作り ❀
- 10日(水) 植 初夏のチョウの調査
- 13日(土) 田 くろつけ
- 14日(日) 田 くろつけ
 畑 大麦の刈り取り
- 21日(日) 田 くろつけ ☆
 畑 さつまいも苗植え ☆
- 24日(水) 植 クズの除去作業
- 27日(土) 田 しろかき
- 28日(日) 田 しろかき ☆
 畑 小麦の刈り取り ❀

- ▶ 会員以外の方参加費500円 4歳以上小学生までの親子1組
 ☆ 谷戸塾
 ❀ 一日里山体験 会員以外の方も参加できます。(要予約)



〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内
 TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時
 ホームページ : <http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>
 Eメールアドレス : ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報79号)は、2017年5月に発行予定

- 田：田んぼ班
 畑：畑班
 雑：雑木林管理班
 農：農芸班
 自：自然遊び班
 生：生態系保全班
 植：植物育成班